

第4学年1組図画工作科学習指導案

令和6年7月12日5校時(13:30~14:30)
荒川区立峡田小学校(図工室・理科室)
第4学年1組31名

研究主題 自分のよさを見つけ、学び合うキャリア教育の実践

1 題材名 「光をつくろう ゆめいろらんぷ」

A表現(1)イ(2)イ B鑑賞(1)ア 共通事項(1)ア イ

2 題材の目標

- ・光が透過する材料の形や色、身近な材料の形や色の特徴や感じを理解するとともに、用具を適切に使い、形や色の組み合わせ方を試し、自分の光を工夫してつくる。
- ・光や影の色や形からイメージを広げて、つくりたいランプの形や、表し方について考え、いろいろな視点でよさを感じ取り、見方や感じ方を深める。
- ・材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ったり展示したりすることを楽しむ。

3 指導における考え方

(1) 題材について

本題材は、小学校指導要領(平成29年3月告示)図画工作を受けて設定した。

【第3学年及び第4学年】 2 内容

A表現

- (1) 表現の活動を通して、発想や構想に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。
- (2) 表現の活動を通して、技能に関する次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - イ 絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。

B鑑賞

- (1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げること。

〔共通事項〕

- (1) 「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 自分の感覚や行為を通して、形や色などの感じが分かること。
 - イ 形や色などの感じを基に、自分のイメージをもつこと。

本題材は、材料の組み合わせによって変化する光のよさや面白さなどを味わう題材である。身近な材料を生かし、自分の光の色や形、「ゆめいろらんぷ」をつくり、協力して展示する。ペットボトルなどの透過性のある材料を生かし、切ったり組み合わせたり、つなげたりして、ランプの形、及び光の形をつくる。身近な材料の特徴、「光を通す」「形や線、影を作る」「光を広げる・キラキラする」「光の強弱をつける」「光に色をつける」などを感覚的に感じながら、LEDライトに当て何度も試す。試す行為を通して、形や色の感じ、光の明るさ、色の明るさ、それらの組み合わせによる光の効果、光の変化などが分かる。光の効果、光の感じを自

分なりに理解し、イメージを広げ、表現と鑑賞を繰り返してつくる。

自分のイメージを実現するために形や色を考えたり、友達と関わり合いながら材料を選んだり確かめたりを繰り返す。その中で、根気強く作品に向き合い、自分の感覚を大切にして進められるように、試す場、共感的な言葉かけ、技能面での支援を工夫する。

また、「ゆめいろらんぷ発表会」を設定し、並べ方や展示の方法を適切なタイミングで行うよう工夫することで、光の様子が大きく変わることを経験できるようにする。展示を見る人への思い、展示空間のイメージを持って進めたい。

(2) 児童の実態について

創作活動に意欲的な児童が多い。個々の感性や個性が光るよう、「自分のいい感じを見つける」という視点を大切にし、これまで題材を設定してきた。3年生では、「見る」ことから「感じる」を大切にし、身近な材料と色砂、スパンコールでスノードームをつくり、水の中で動く様子から、美しさを感じたり発想を広げたりして自分のスノードームの世界をつくった。

光の題材としては、展覧会共同作品「ゆめいろファンタジー」で、自然光で薄く白く透過するトレーシングペーパーに、カラーセロハンや毛糸、お花紙などを使い、平面上で光と影に色を付ける作品をつくり、自然光と身近な材料の知識と経験を得ている。

個々の技能面では、支援が必要な場面もある。立体作品は、360度から見てつくることや、立体となるように作品をつなげること、丈夫な構造にして、立つ方法を見つけられない場合もある。LED ライト光の方向を意識し、材料やライトを支える形を考えて進めるなど、材料のつなぎ方などの技能面や作品の強度を保つ方法など、全体で確認しながら進めていく。

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 光が透過する材料の形や色の組み合わせ方を試すことを通して、材料の形や色の特徴や感じがわかる。 用具を適切に使い、光を透過する材料の形や色、その組み合わせを、表したいことに合わせて工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 光や影の色や形からイメージを広げて、つくりたいランプの形や、表し方について考えている。 自分や友達の作品のよさを感じ取り、いろいろな視点で自分の見方や感じ方を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 材料を透過する光の美しさや面白さなどを自分の感覚で感じながらランプをつくり、みんなでランプを飾ったり展示したりすることを楽しもうとしている。

5 本題材とキャリア教育で育みたい力

◎ 自 自分で考え、気付く力	<p>…… 自分のよさに気付いたり、その良さを伸ばしたりすることができる。</p> <p>(図工) 自分の選んだ材料のよさや光の効果に気づき、思いに合わせて、「ゆめいろらんぷ」を工夫することができる。 (自己理解・自己管理能力)</p>
◎ 友 友達等と関わり、学び合う力	<p>…… 友達との話合い、活動を通して自分の考えを深めることができる。</p> <p>(図工) 友達との活動を通して、思いを重ねたり、自分の考えを広げたり深めることができる。 (人間関係形成・社会形成能力)</p>
◎ ふ 活動の振り返りができる力	<p>…… 自分にあつためあてを立てて取り組み、成果や課題を振り返ることができる</p> <p>(図工) 自分にあつためあてを立てて取り組み、成果や課題を振り返ることができる。 (課題対応能力)</p>
◎ 見 将来を見通す力	<p>…… なりたい自分をイメージして活動することができる。</p> <p>(図工) 「ゆめいろらんぷ発表会」までの見通しをもち、活動することができる。 (キャリアプランニング能力)</p>

6 目標にせまるための手立て

手立て①場の設定（材料の選別、道具の配置、児童の動線）

○「光を通す」「形や線、影を作る」「光を広げる・キラキラする」「光の強弱をつける」「光に色をつける」身近材料を手に取りやすい場所に準備し、いつでも何度でも試せるようにし、理科室の暗室と図工室を自由に行き来できるよう、場の工夫、環境を整える。

（友達等と関わり、学び合う力）（自分で考え、気付く力）

手立て②振り返りの工夫

○作品と自分に向き合い、光の変化のよさや日々の成長に気づけるよう、次時への前向きな内容、友達とのことを記録して振り返る。

（活動の振り返りができる力）

手立て③「ゆめいろらんぷ発表会」の計画

○完成したランプを友達と協力し、並べ方や展示の方法を工夫することで、光の様子が大きく変わることを経験できるように進める。どこでどのように、誰に見せるのかを考え、イメージして完成を目指す。

（友達等と関わり、学び合う力）（将来を見通す力）

7 単元計画 本時（3／7）

時間	○学習内容	◇指導上の留意点 ☆評価 ★見いだせる「キャリア教育で育みたい力」
1・2	<p>○透明の素材を組み合わせ、ランプの基本の形となる光の土台をつくる。</p> <p>1、 昨年<small>の</small>展覧会<small>の</small>画像を見て、見通しをもち、「ゆめいろらんぷ発表会」をすることを知る。</p> <p>2、 ラミネートシートで、「光の色と形すけすけシート」をつくる。</p> <p>3、 ペットボトルや光を透過させる材料の扱いと切り方を知る。</p> <p>4、 光を透過するものを、切ったりつなげたり組み合わせたりして、ライトのサイズあった、光の土台、光の形をつくる。</p>	<p>◇昨年<small>の</small>展覧会<small>の</small>画像を提示し、意欲を高め、見通しをもてるようにする。</p> <p>◇作業が行いやすいように、作業に使う用具を班ごとに分けて用意しておく。</p> <p>◇安全性のため、作業中の道具の使い方に配慮する。</p> <p>◇光の強弱、ランプの光の方向、どこから見るのかを、考えさせる。</p> <p>◇光の形を支える丈夫さにも触れ、切り方、つなげ方など、どんな方法があるのかを共有し、見通しをもたせる。</p> <p>☆用具を適切に使い、光を透過する材料を切ったり組み合わせたりして工夫している。知</p> <p>★自分の選んだ材料を思いに合わせて工夫し、形のよさを見つけ出そうとすることができる。（自分で考え、気付く力）</p>
3 (本時) ・ 4 ・ 5	<p>○光や影の色や形からイメージを広げて、つくりたいランプの形や、表し方について考え、いろいろな視点でよさを感じ取り、見方や感じ方を深める。</p> <p>1、 素材を集める。</p> <p>2、 LED ライトの光の強さを確認し、光の方向を確かめる。</p> <p>3、 全体で、光を透過する材料やいろいろな素材の光を確かめ、光の感じを味わう。</p> <p>4、 個々で光を透過する材料やいろいろな素材の光を確かめ、光の感じを味わい、自分の光を工夫してつくる。</p>	<p>◇素材の違いによって光や影の違いを感じ取れるよう確認する。</p> <p>◇光の強弱、ランプの光の方向、どこから見るのかを、考えさせる。</p> <p>◇切り方、組み合わせ方、つなぎ方など、児童の個々の経験に合わせて支援する。</p> <p>◇迷っている児童にはあらかじめ切った材料を準備しておき、形づくりのヒントとして提示する。</p> <p>◇材料に合わせてセロテープ以外の接着方法も考えて使ってみよう促す。</p> <p>★自分の選んだ材料のよさに気づき、思いに合わせて、光の効果、「ゆめいろらんぷ」を工夫することができる。（自分で考え、気付く力）</p> <p>★光の変化のよさや日々の成長に気づけるよう、次時への前向きな内容、友達とのことを記録して振り返ることができる。</p> <p>（活動の振り返りができる力）</p>

6	<p>○理科室で鑑賞会を行い、自他の作品のよさを感じ取る。</p> <p>1、自分の作品と友達の作品を見合い、良いところを伝え合う。</p> <p>2、互いの作品の場所を変えて、光の感じの違いに気づく。</p> <p>3、どんな「ゆめいろらんぷ発表会」にするか具体的に話し合う。</p> <p>4、必要なものを準備する。</p>	<p>◇一度の鑑賞ではなく、作品の位置を変えて、何度か見方を変えて鑑賞させる。</p> <p>◇BGM、土台で高さを出すなどを経験させ、自分たちの展示イメージをもたせる。</p> <p>☆光の展示の変化から、見方や感じ方を広げている。【思】</p> <p>☆自分や友達の光のよさや工夫、イメージのよさを感じ取ることができる。【思】</p> <p>★「ゆめいろらんぷ発表会」をイメージし、活動することができる。 (将来を見通す力)</p>
7	<p>○展示場所、配置など、クラスごとに光の感じを味わいながら展示し、学年合同鑑賞会を行う。</p>	<p>◇中休み・昼休みに会を開くことができることを伝え、昨年の展覧会、先週の経験から考えるようにし、誰に何のために発表するのかを意識させる。</p> <p>☆みんなでらんぷを展示することを楽しんでいる。【主】</p> <p>★完成したランプを友達と協力し、並べ方や展示の方法を工夫することができる。 (友達等と関わり、学び合う力)</p>

8 本時の指導 (3 / 7 時間)

(1) ねらい

- 素材を透過する光のよさを感じる。
- 道具や作り方を工夫し、試しながら発想を広げ、自分の光や光の形をつくる。

(2) 本時の展開

時間	学習内容・学習活動	◇指導上の留意点	☆評価 ★キャリア教育で育みたい力
導入 20分	1、本時の活動を確認する。		
	<p>2、気になる素材、光を当ててみたい材料を3つ選ぶ。</p> <p>3、理科室で、LEDライトの光の強さと光の方向を確かめる。</p> <p>4、全体で、光を透過する材料や身近な材料の光を確かめ、光の感じを味わう。</p> <p>① 前時の形 ② 選んだ3つの材料</p>	<p>◇光を透過するもの、光を通さないもの、光を広げるものを準備しておく。</p> <p>◇光を試す場所は理科室、つくる場所は図工室であること伝え、友達とかかわりながら楽しんでつくるよう、促す。</p> <p>◇光の向きに合わせて、ライトのスイッチが押せる構造、ライトを取り外せる構造につくることを伝える。</p> <p>◇透明の容器の組み合わせ方にも触れ、光の届く位置をもとに、ランプづくりの見通しをもたせる。</p> <p>◇前時で形ができていなくても、部品を重ねたり並べたりして、見るようにする。</p> <p>◇素材の違いによって光や影の違いを感じ取れるよう確認する。</p> <p style="padding-left: 20px;">A 光をすかす B 光に色をつける C 光を広げる D 形や影をつくる</p> <p>◇互いに見合い、児童の発言を共有し、発想を広げていく。</p> <p>◇素材を重ねすぎるとどうなるかを気付かせる。</p> <p>◇理科室は、いつでも確かめられるように、行き来して良いことを伝える。</p>	<p>☆光のよさや美しさ、面白さを感じ、ランプづくり、光の世界を楽しんでいる。【主】 (観察)</p>

**○光を当てた時の、素材の特徴、よさ、光の効果を確認、発想を広げよう。
○切ったり組み合わせたりして、自分だけの光の色や光の形を工夫してつくりよう。**

展開 35分	<p>5、自分のめあてを立てる。</p> <p>6、個々で光を透過する材料やいろいろな素材の光を確かめ、光の感じを味わい、自分の光を工夫してつくる。</p>	<p>◇めあてが思いつかない児童にはキーワードを示し、めあてを立てられるよう支援する。</p> <p>◇迷いなく活動できるように、動きの確認をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・光を確かめる人 ・光の形を作る人 ・まずめあてを書く人 ・動きの確認をする。 <p>◇切り方、組み合わせ方、つなぎ方など、児童の個々の経験に合わせて支援する。</p> <p>◇素材に合った道具や用具を紹介し、困らないようにする。</p> <p>◇迷っている児童にはあらかじめ切っている材料を準備しておき、形づくりのヒントとして提示する。</p> <p>◇思いつかない児童には、材料を沢山切って形を変え、つなげる活動をするように声をかける。</p> <p>◇ホットボンドとホットカッターを準備し、児童の思いに合わせて対応をする。</p>	<p>☆光の色や影から発想を広げている。思 (作品・観察)</p> <p>☆用具を適切に使い、基本の光の形、材料の組み合わせを、思いに合わせて、工夫する。知 (作品・観察)</p> <p>★自分の選んだ材料のよさに気付き、思いに合わせて、光の効果、「ゆめいろらんぷ」を工夫することができる。 (自分で考え、気付く力)</p>
まとめ 5分	<p>7、光の変化のよさや日々の成長に気付けるよう、次時への前向きな内容、友達とのことを記録して振り返る。</p> <p>◎ナイス (成長やがんばり)</p> <p>☆ピカリ (気づき・発見)</p> <p>8、後片付け</p>	<p>◇新しい気づきや成長に気付けるように、発言を促し、全体で共有する。</p>	<p>★自分が立てためあてに対し、成長と課題を振り返ることができる。 (活動の振り返りができる力)</p>

9 板書計画

○光を当てた時の、素材の特徴、よさ、光の効果を確認、発想を広げよう。

○切ったり組み合わせたりして、自分だけの光の色や光の影を工夫してつくりよう。

- ① LEDライトの強さと光の方向
- ② 光の土台の光の感じを確かめる。見合う。
- ③ 色々な材料をためす。見合う。

光を
すかすもの

光に色を
つけるもの

光を
広げるもの

影や形を
つくるもの